

DB 操作関係
laravel は基本

- 1.DB クラスを使う方法
- 2.クエリビルダーを使う方法
- 3.orm(object relational mapping,o/RM,ORM)使う方法

laravel では基本 eloquent ORM を使う。
model は app ディレクトリ配下に置く。
(命名規則はアッパーキャメルの単数形)

php artisan make:model (model 名)

php artisan make:model Drill —migration

基本コントローラー側で new メソッド等使う為の参照元等に使う。

このコマンドで作成された model クラスは同名+s の table に対して自動で SQL 文を作成される。

バリテーション関数を作る前に migration コマンドを使って table を生成している場合、バリテーション関数内のカラムに付属させた属性と食い違ってた場合エラーが出る。

その際生成済みの table カラムの属性を変えたい場合は dbal を使わないといけない。

コマンド
composer require doctrine/dbal

Doctrine DBAL ライブラリーというのは、現在のカラムの状態を決め、指定されたカラムに対する修正を行う sql クエリを生成するために使用している。
<https://readouble.com/laravel/5.6/ja/migrations.html>

1.修正情報を書いたマイグレーション
php artisan make:migration
change_probrem_not_null_to_null_on_drills_table

カラム名変更
\$table->renameColumn('night_spanding', 'night_spending');

down()
修正前のメソッドを書いておく

